

『ファウスト』脚注の試み (16)

渡 辺 信 生

(1996年5月13日受理)

DER NACHBARIN HAUS

最高のフモールに満ちたこの場面は、Marthe の紹介と、二つ目の小箱が Gretchen に及ぼす効果や、逢引きの願望を実現するために、Faust によって提案された方法などを、生き活きと結びつけているばかりか、更に Marthe と Mephisto との比類なきたわむれさえも表現している。Mephisto はあらかじめまたスパイしていて、彼女の夫が消息を絶っていることを知り、この事実を Faust のためにここで利用して、Schwerdtlein 氏死亡の二人目の証人として Faust を紹介するのである。(Witkowski)

何と言っても160行のこの場面も劇的な作用には乏しい。Mephisto は Faust が Gretchen に出会う前提条件をこしらえる。これは最後の10行で行なわれる。ついでに言えばこの前提条件は、ユーモラスな効果のために作られたものである。それもはっきり分かる手本に従って。その手本の一つは、Hans Sachs の Fastnachtsspiel であり、他の一つは Witkowski が指摘しているように、恐らく Shakespeare の „Kaufmann von Venedig” の一場面であろう。(Arens).

2865. Gott verzeih's — Gott verzeihe es. verzeihe — Konjunktiv I.
Gott に対する要求。es — 不特定の目的語。

2866. an mir — gegen mich. 現在完了。=Er hat mir nichts gutes getan.
英訳では：“He hasn't done very well by me”. (Atkins). “He didn't treat me right”. (Luke).

2867. Geht... hinein — hinein|gehen. Geht の主語は前行の Er. da — あ
のとき。stracks — geradeaus. (Schröer).

2868. läßt mich auf dem Stroh allein — Strohwitwe. 夫たちが旅行中だ
たり不在だったりして、わら床の上に一人取り残される妻たちのことを、戯れに

- Strohwitwe と言う。(Schöne).
2869. Tät — (Ich) tat. Vgl. Vers 2138, 2145, 2781. ここは=Ich bin ihm doch immer treu gewesen. (Arens). betrüben — 次の lieben と韻を踏む。(Heffner).
2870. weiß Gott (Gott weiß)— als starke betreuung ‘wahrlich’. (Grimm).
- 2870+ Sie weint — 泣くのは次のせりふを考えた上での完全な舞台上の効果である。というのは、彼女は夫を本当に嘆き悲しんでいるのではないことを、この場面全体が示しているので、彼女が泣くのは心からのものではないからである。(Arens).
2871. gar — ganz. Pein — Marter, Qual. (Fischer). このあとの二つの Gedankenstrich は、Mephisto の成功をあらかじめ理由づけている絶妙な Witz の前での Pause を予告するものである。(Arens).
2872. Hätte ich nur...—Wenn ich nur einen Totenschein hätte! Konjunktiv II. 不可能と思われる現在の願望。Totenschein — 彼女が少なくとも必要としていたものは、例えば再婚できるための法律上、教会法上の死亡宣告であろう。このような宣告ができたのは、ようやく18世紀になってからだった。(Gaier). Vers 830 の der „Tobak”, 3012 の das „Wochenblättchen” と同じ滑稽な Anachronismus. (Schmidt).
2873. Gretelchen — Margarete の二重の縮小形で、特別な情愛のこもった表現。(Trendelenburg). 度の過ぎたわざとらしい優しさの表現。(Reclam). Was soll's? — was soll es (sein)?=Was ist los? soll's は3行下の-holz と韻を踏む。
2874. sinken... nieder — nieder|sinken. mir die Kniee — meine Kniee. 最後の e は Reim のため。=Fast hätten mir die Knie niedergesunken!
- 2875—76. Da — 時間的な意味。訳さなくてよい。so ein — solch ein. = Da finde ich wieder so ein Kästchen von Ebenholz in meinem Schrein. Marthe はすべてを知っていた。Gretchen が彼女に最初の小箱のことを話していたのである。Gretchen は Marthe から、飾りを母親に隠しておくように忠告される前に、飾りを手元に置いておこうと決心していたのである。従って二度目の小箱の最初の効果は、自分自身の人生の望みを追求するために、母親から離れ始めるということである。この飾りが鎖になるのである。Vgl. vers 2794—97.

(Arens).

2877. Und Sachen herrlich... — Und Sachen (sind) ganz und gar herrlich.

2879. Das — vers 2875-8 の内容を指す。Sie—du. sie (sing.) を女性への呼びかけとして用いるのは17世紀に起った。最初はより古い丁重な ihr に較べて、より繊細でより敬意を表わす手段として用いられたが、しかし急速に plur. の sie に押しつけられて、召使や下層階級の人々に制限されることになった。今世紀では全く用いられない。(Grimm). Vers 548, 2304, 2306, 2634 の注参照。2行下の Sie も同じ。おかしいことだが、Marthe は極めて当然な反応を示さない。驚きの叫びも上げず、好奇心も示さず、見たいとも言わず、飾りの贈物を疑いもしない。むしろすぐ Gretchen の気持になって彼女をそそのかす。(Arens).

2880. Tāt's — (Die Mutter) täte es. täte は Konjunktiv II. tragen と結ぶ。現在の仮定。持って行くだろうよ。es—Vers 2877の Sachen. zur Beichte tragen — der Kirche geben. (Endres). ここは Mephisto の話とは一致しないが、ありそうなことである。(Arens). Vgl. Vers 2831.

2881. seh' — sehe = sieh. — ungewöhnlich. (Grimm). schau' — schau. とともに Sie (du) に対する命令法。schauen と sehen は英語の look と see の相違と同じ。しかしここでは両者とも同じ意味で前後して置かれている。(Grimm).

2882. putzt... auf — auf|putzen. du — Sie から du への変化は、打ち解けた gemütlich な気持になったことを表わしている。Vgl. Vers 548. (Thomas).

O du glückselige Kreatur! — まあ仕合せな子だねえ! この Marthe の言葉に、聖書に詳しいゲーテの同時代者たちは、彼女自身考えてはいない次の言葉を結びつけることができたであろう: „Siehe, das sind gottlosen, die sind glücklich in der welt, und werden reich.” (Psalm 73, 12). (Schöne).

Gretchen が極めて自然な形で飾りに熱狂しているのに、Marthe の方は Gretchen の仕合せを喜ぶという全く私欲のない女である。このことはこのすぐあとで Mephisto に、夫の Schaustück や Geschmeide のことを率直に尋ねて言う言葉とは完全に一致しない。Marthe は個性を備えた人物ではなく、一つの機能に過ぎない。即ち、ここでは年長の助言者であり、そのすぐあとでは如才のない Mephisto の掌中で泳ぐ滑稽なあやつり人形なのである。(Arens).

- 2883—84. Darf — (Ich) darf. nicht A noch B — A も B も... でない。
auf der Gassen — auf der Gasse. Gasse — mhd. schwachformig ;
auch nhd. hat die schwache form auch im sing. (Grimm). mit —
damit (=mit dem Schmuck). (Königs). 市民の娘には „Kleiderordnun-
gen” によって装身具が規制されていた。Vers 2792f. の注参照。(Schöne).
sich sehen lassen — 姿を見せる, 出て行く。
2885. Komm... herüber — du に対する命令法。herüber|kommen.
2886. leg... an — du に対する命令法。an|legen.
2887. Spazier... vorüber — du に対する命令法。vorüber|spazieren. vor-
über — mit dem dativ, vorüber kann vor- oder nachstehen.
(Grimm). ein Stündchen — Akk. Spiegelglas — Spiegel. (Schrö-
er). Alexandriner. (Schröer). =gehe vor dem Spiegel hin und her.
(Trunz).
2888. =Wir freuen uns daran. Wir — Marthe と Gretchen の 2 人。
2889. gibt's — gibt es. es は非人称。
2890. Wo — 関係副詞。先行詞は Anlaß と Fest. man's — man es. es =
Schmuck. nach und nach— allmählich. (Grimm). den Leuten sehen
läßt — lassen の Dativ との結びつきは, ゲーテの時代には, 教養のある
人々の間でも極く普通に行なわれていた。(Witkowski). Alexandriner.
(Schröer).
2891. Kettchen — Halskettchen. Akk. die Perle dann ins Ohr (anle-
gend).
2892. sieht's — sieht es. es = Schmuck. wohl — in bescheidener be-
hauptung reine vermutung ausdrückend für 'vermutlich, anscheinend,
möglicherweise.' (Grimm). man — Margarete と Marthe の二人。ihr
— der Mutter. was — etwas. unbestimmtes object. (Grimm).
einem etwas vormachen — ihm täuschungshalber etwas einreden, ihn
irreleiten. だます, 言いくるめる。(Fischer). =vorgaukeln.(Heyne). Alex-
andriner. (Schröer).
2893. nur — denn. 一体。
2894. Es — 前行の内容を指す。geht... zu — zu|gehen. 起る, 生ずる。 =
There's something wrong about it ; more literally : 'It does not
happen with things that are right.' (Thomas). 今や彼女はこれらの小箱

が、あの求愛者 (Vers 2851f.) から贈られたということをおよそ一層確信する、たとえ鍵のかかった Schrein の中に入っているという奇妙なやり方で、多少不気味な気持ちになるとしても。(Düntzer).

2893—94. この2行は Fragment で初めて挿入された。若し Margarete が贈り主への不審を口にしなかったとしたら、やはり多少とも不自然に思われたことであろう。(Arens).

2895. Ach Gott! — まあ大変。mag — 推量。この叫び声は Margarete が母親に逆らって、Marthe と共に事を運ぼうと決心していることを明らかに示すものである。彼女は未知の道へ大きな一歩を踏み出すのである。(Arens).

2895+ Vorhängel — ドアの覗き窓の手前にある小さなカーテン。(Grimm).

2896. Es — 紹介の es.

2896+ tritt auf — auf|treten.

2897. Bin — (Ich) bin. Bin so frei—ich gestatte mir. (südd.) 失礼ですが、入らせて戴きます。(Reclam). 目上の人がすすめた好意を受ける際の標準的な返事。ここでは入りたいという要請。If you don't mind, I'll come right in. (Heffner). grad' — gerade.

2898. Muß— (Ich) muß. erbeten — erbitten より強い。ゲーテの若い頃にはすでに死語。ここは恐らく Reim のためにだけ用いられたもの。(Witkowski).

2898+ tritt... zurück — zurück|treten.

2899. Wollte— (Ich) wollte. Konjunktiv II. 外交的用法。

2900. Ich bin's—Ich bin es. Es ist ich. とは言わない。der Herr — 16世紀以来丁寧な形式として、herr, mein herr という直接的な呼びかけの代りに、動詞を伴った der Herr という間接的な呼びかけが、3人称で登場する。(Grimm). Vers 2908 の der Herr も同じ。英訳では: "I'm here. And what have you to say, sir?" (Greenberg). "That's me. What might the gentleman want?" (MacNeice).

2900+ zu ihr — zu Frau Marthe.

2901. Sie — du. 次行の Sie も同じ。Vgl. Vers 2879の注参照。das — 前半の Ich kenne Sie jetzt.

2902. vornehmen Besuch — Vers 2906 の Fräulein (貴族の娘) の意味。

2903. Verzeiht — Ihr に対する命令法。Mephisto は Marthe に Sie (du) を用いて話しているが、命令形には Ihr を用いている。これは彼が Marthe を小馬鹿にしているように受け取れるが、同時にまた Sie (du) の本来の敬称としての

- 用法が、多少とも Mephisto に意識されている結果として、丁寧な *Ihr* を用いたのかも知れない。genommen — genommen (habe). 英訳では：“Excuse the liberty I took.” (Atkins).
2904. Will — (Ich) will. Nachmittage — adverbialer dativ, nachmittags, zusammengerückt aus nach mittage. (Grimm). Urfaust と Fragment では nach Mittage. (Schöne).
2905. Denk — du (=Kind) に対する命令法。何か重要なことを話題にするとき、hört ! で注意を引くように、思いがけない出来事のあるときには denkt ! denkt euch ! denke einer ! denkt einmal was geschehen ist と言う。(Grimm). 命令形の間投詞的用法で「まあ、おや、あら」ほどの意。英訳では：“Goodness, child.” (Greenberg). “Why, fancy, child.” (Bruford). um alles in der Welt — Ausruf des Staunens. (Düntzer).
2906. Fräulein — 貴族の娘。Vgl. Vers 2605. jn. für et. halten.
2907. Blut — eine lebende Person selbst. (Heyse). Vgl. Vers 872, 2636, 2798.
2908. Ach Gott ! — vornehmlich zum ausdruck des schmerzes, der klage. (Grimm). der Herr — Vers 2900 の注参照。gar — viel, bei weitem. (Heyse).
- 2907—9. この返事は余りにも無邪気に卑下しすぎている。彼女は Faust を打てば響くように、つんとして退けた女では全くない。(Arens).
2910. es — Vers 2906 の内容を指す。
2911. Sie hat — 2行下の bringt Er と共に2人称の形。こうした人々にとっては、型通りの、或いは「丁寧」な言葉である。Vgl. Vers 548. (Heffner). Wesen — Persönlichkeit. (Fischer). einen Blick so scharf — einen sehr scharfen Blick. scharf — durchdringend, genau prüfend. (Fischer). Der „scharfe Blick” というのは、Fräulein の印象を与えていることの理由づけとしては少しおかしい。澄んだ威厳のある(洞察する)眼差しを意味しているのかも知れない。(Arens).
2912. mich's — mich es. es=daß 文。
2913. Verlange sehr — (Ich) verlange sehr (zu hören). (青木)。
2914. wollt', hätt' — wollte, hätte. Konjunktiv II. 現在の仮定。Mär — Nachricht, Geschichte の古風な表現。Märchen は小さな Mär. (Endres). Vgl. Vers 1423. =Ich wollte, daß ich eine frohere Mär hätte ! もっと

楽しいお知らせなら良いのですが。

2915. Sie — Du. mich's — mich es. es は前行の楽しくない知らせ。drum — darum. そのために。これは無くてもよい。

2916. Ihr Mann — Dein Mann. Sie — dich. jn. grüßen lassen. 簡潔な、痛切で皮肉な表現。Mephisto は自分の言葉が、Marthe に恐しいショックを与えることはないということを知っている。勿論彼の言うことは全部勝手な作り話である。(Arens).

2917—18. Ist tot? — (Er) ist tot? Herz — Mensch, Person. (Heyse). vergeh' — vergehe = sterbe. (Fischer). Mephisto は最初の効果をあげる。即ち、Marthe は „das treue Herz” (Vgl. Vers 2995 / 6!) を嘆き悲しむ。すべては決まり文句である。„O weh!” も „O Pein!” (Vers 2871) 同様月並みである。„ich vergeh'”, つまり, „ich sterbe” は „真実の悲しみの表現とは異なる, 全く型通りの言葉である。(今度は „sie weint” と書かれていない)。(Arens).

2919. verzweifelt — Ihr に対する命令法。

2920. So — Also. hört — Ihr に対する命令法。前行の verzweifelt にならったもの。Geschicht' — Geschichte.

2921. mein' Tag' — meine Tage = Lebenszeit. (Fischer). Vgl. Vers 2791. Margarete は勿論愛は永遠である — Thule の王のそれのように — と思っている。(Arens). 痛ましいイロニー。これが正確に彼女の身の上にかかることになる。(Heffner).

2922. Würde mich... — Verlust (des geliebten Mannes) würde mich zu Tode betrüben. Würde — Konjunktiv II. 現在の仮定。

2923. Freud' muß Leid, Leid muß Freude haben — Die Sprüche Salomos 14, 13: „Auch beim Lachen kann das Herz trauen, und nach der Freude kommt Leid”. (Gaier). この句の後半部は珍しい。(Heffner). Freud' — Freude.

2924. Erzählt — Ihr に対する命令法。

2925—26. der heilige Antonius — Antonius von Padua (1195—1231) は、死の翌年に聖者に列せられた。Padua の彼に聖別された教会で、祭壇の下の銀製の柩の中に葬られている。Schwertlein がこの教会に葬られているということは、勿論極めて名誉なことだろうが、この場面の他の話と同様 Mephisto の作り話である。(Endres).

最も古い Faustbuch には、Faust が3度目の遍歴で到着した Padua について、次のように書かれている： „Eine Kirche S. Antoni genant ist allda, daß ihres Gleichen in ganz Italia nit gefunden wirt.” (v. Loeper).

最初から最後まで Mephisto は、常に教化的—キリスト教的なものを強調する。先ずここで、それから Vers 2931, 2939, '53, '58, '72, '84 で。宗教は真に慰めとなるもの、唯一重要なものであるということを、確信している敬虔な男を演じながら。(Arens).

2927—28. An einer... Ruhebetten — an einer zum ewig kühlen Ruhebetten wohlgeheilten Stätte. (Königs).

2929. Habt Ihr — Marthe は初めて Er でなく Ihr を用いる。

2930. eine Bitte, groß und schwer — (Ich habe) eine große und schwere Bitte (an Sie). Lass' — Lasse. Weimarer Ausgabe は Lass' であるが、A. Schöne を初め Laß の版もかなりある。特に Urfaust, Fragment は Lass, Laß になっている。命令法としては Laß が普通。Sie — dich. ミサを300遍歌ってもらって欲しい。drei hundert Messen singen — 歌われるミサはとても費用がかさむだろう。勿論故人の記念ミサは読まれるだけである。(Gaier).

Mephisto は Schwerdtlein 氏の魂の救済のために、300遍の歌ミサをあげてもらおうという常規を逸した頼みを持ってくる。(故人の記念ミサは Singmessen ではないので、lesen と書くべきであろう。) Marthe の貪欲な質問に、法外に金のかかる要求で答えるという冗談は、Schwerdtlein 氏の魂が浄罪火の中で、どれほど多くの手助けを必要とするかということ、暗に意味している。こう言うてからようやく Mephisto は、Marthe の質問に答える。(Arens). Alexandriner. (Schröer).

2933. nicht ein Schaustück? — (Habt Ihr) nicht ein Schaustück? Schaustück — 16, 17, 18世紀に好まれたような Schaumünze, Medaille. (Ade lung). Geschmeid' — Geschmeide: schmuck aus edelmetallen, auch edelsteinen und perlen. (Grimm). Mephisto による2番目の効果と最初の急転回。(Arens).

2934. Was — 関係代名詞。先行詞は Schaustück と Geschmeid'. Säckel — kleiner sacke, tasche, beutel; besonders geldtasche, geldbeutel. (Grimm). sparen — 残す, 取っておく。Alexandriner. (Schröer).

2936. あとに als es wegzugeben を補う。(Thomas). =Und er hungert lieber,

- bettelt lieber, als es wegzugeben.
2937. Madam — Madam という呼びかけは、16世紀の終りに初めて受け入れられた。Urfaust の時代には、まだ上流階級の婦人に対してのみ用いられていた。(Arens). es — Vers 2933 の内容を指す。
2938. er — Herr Schwerdtlein. verzetteln — geld oder andere werte verschleudern, nutzlos anwenden, vergeuden, verschwenden. (Grimm). この Vers の意は：Vers 2933 のようなつまらぬことのためにではなく, schönes Fräulein (Vers 2981) のためにお金を使ったこと。(Gaier). 現在完了。Alexandriner. (Schröer).
2939. Auch er bereute — Auch bereute er が普通の語順。Vgl. Vers 5872. (Schmidt). „Auch” は Urfaust では „Und” になっている。この方が適切のように思われる。韻律のために „er” にアクセントを置くのは、結果として正しい意味にならないからである。(Arens). Fehler — 過失, あやまち。
2940. und — und (er). noch viel mehr — 前行よりもなお一層。Alexandriner. (Schröer). この句は全く不必要に思われる。この Mephisto の4句は、すべて合理的な関連のない、寄せ集めの印象を与える。(Arens).
2941. Ach ! daß... — Ach ! (es ist ungläublich) , daß...
2942. Gewiß — sicher, zweifellos. manch — manch(es). noch — künftig.これから。Requiem — Totenmesse のときの祈り。Requiem aeternam dona eis (Ewige Ruhe gib ihnen !) という文句で始まるころから、この名前と呼ばれている。(Endres). Margarethe の言葉は、ゲーテがカトリックの規則を知らなかったことを示している。個々の信者が Requiem を、従って死者のための Totenmesse をあげることはない。教会が司祭によって行うのである。(Arens). Alexandriner. (Schröer).
2943. Mephisto は Margarethe に Ihr で話しかける。wäret — Konjunktiv II. 外交的用法。in die Eh' treten — die Ehe betreten=heiraten. wert sein, et. zu tun.
2945. das — Vers 2943を指す。geht... an — an|gehen. =das ist jetzt noch nicht möglich. (Arens).
2946. Ist's — Ist es. es=in die Ehe zu treten. 次の es も同じ。Mann — Ehemann. =Wenn es nicht ein Mann ist. sei's — sei es. sei — Konjunktiv I. 要求。derweil — indessen. (Schröer). Galan — vornehmer (schön gekleideter) Liebhaber ; Wort aus dem später 17 Jh.

- (Gaier). 夫でなければ, そのうちいい人でもいかがでしょう。
2947. 's — es. 次行の zu 不定句。der größten Himmelsgaben — Pl. Gen.
2948. So ein lieb Ding — Solch ein lieb(es) Ding=Liebhaber. (Arens).
2949. Das — 上3行の内容を指す。des Landes nicht der Brauch — nicht der Brauch des Landes. (Königs).
2950. Brauch oder nicht ! — Es ist einerlei, ob das Brauch ist oder nicht. Es gibt sich auch — es geht auch so. (Königs). 英訳では : Custom or not, all the same it is what's done. (Greenberg).
2951. Erzählt — Ihr (Mephisto) に対する命令法。Alexandriner. (Schröer). 偽善者らしく, ありきたりのお悔みの顔付きをした Mephisto の話の調子が, だらだらしてくると, Alexandriner が用いられる。Marthe の場合も同じ。(Schröer).
- 2951—8. Mephisto は, 都合の良いことと悪いことを交互に報告しながら, Marthe をもて遊ぶ。彼が役者のように入れこんで, 話す調子が次第に強くなって行くのがはっきりと分かる。(Arens).
2952. Es — 1行上の Sterbebett. was — etwas. von Mist — von は材料を示す。
2953. Von halbgefautem Stroh — 前行の Es war に続く。starb als Christ — 懺悔をして, Sterbesakrament を受けてから死ぬこと。(Gaier). Alexandriner. (Schröer).
2954. fand — gewahr werden, erkennen. auf der Zeche — im Schuldbuch, auf der Rechnung. (v. Loeper). weit mehr noch — weit mehr noch, als er vor dem Empfang der Sterbesakramente gebeichtet hatte. (Schöne). 借りが沢山あるということは, 良心にやましい所が沢山あるということ。(Arens).懺悔がまだ不十分なために, Totenmesse が沢山必要なのである。(Gaier). hätte — Konjunktiv II. 外交的用法。Schwertlein 氏の卑劣な主張を和らげて, それに慎重かつ丁寧な調子を与える。(Heffner). Alexandriner. (Schröer).
2955. Wie muß ich ... — 感嘆文。
2956. So — in dieser Weise. 次の so も同じ。Gewerb — Gewerbe=business, trade. (Heffner). mein Weib — meine Frau. = weil ich so mein Gewerbe, so mein Weib verlassen muß ! (高橋)。
2958. Vergäb' — Vergäbe. Konjunktiv II. 実現不可能な願望。in diesem

Leben — in this life. (Luke). while I'm still alive. (Atkins). この懺悔の思いに満ちた願望は、他のすべての話と同様に作り話なのだが、Marthe があるのままで反応するように作られている。(Arens).

Leben のあとの Gedankenstrich は、Marthe に返答する時間を与えるために、Mephisto が少し時間を置いたことを示す。それから彼女が憤慨せざるを得ない言葉を続ける。(Arens).

2959. Der gute Mann ! — Der gute Mann (ist er doch) ! hab' — habe. 現在完了。Mephisto による3度目の効果と2度目の急転回。彼女が言うことは、夫の言葉同様本当ではない。(Arens).

2960. weiß Gott (Gott weiß) — als starke beteuerung 'wahrlich'. (Grimm). Vgl. Vers 2870.

2961. Das — 前行のこと。Was ! — Was (sagt er da) ! 不快な拒絶の表現。(Grimm). am Rand des Grabs — kurz vor dem Tode. (Fischer). Mephisto による4度目の効果と3度目の急転回。(Arens).

2962. fabelte — redete irre, delirierte. うわ言を言う。(Schröer). Züge — Atemzüge. (Fischer).

2963. Wenn ich nur... — 若し私が半可通で判断するとすれば。英訳では: "If I'm anything of a connoisseur here." (Greenberg). "If I'm half a judge of the situation." (MacNeice).

2964. Ich hatte nicht zum Zeitvertreib zu gaffen — Ich mußte zum Zeitvertreib nicht gaffen. =Ich hatte keine Zeit, müßig zu gehen. (Arens). Alexandriner. (Schröer).

2965. schaffen — hübsches Zeugma. Kinder と Brot にかかる。(Trendelenburg). sie — Kinder. zu schaffen は前行の Ich hatte にかかる。

2966. Brot im allerweitsten Sinn — d. h. den gesamten Unterhalt (und die Ansprüche waren nicht klein !) (Arens). weitsten — weitesten.

2967. nicht einnal — ... さえない。Teil — Anteil. 分け前。Alexandriner. (Schröer).

2968. aller Treue, aller Liebe — vergessen の Gen. 補足語。普通は Vers 3333, 4114 のように Akk. を取る。(Heffner). so — solch. あれほどの。倒置による感嘆文。現在完了。Alexandriner. (Schröer).

2969. Der Plackerei — Gen. vergessen の補足語。immer neue Plage. (Fischer). bei Tag und Nacht — all day and night. (Luke).

2970. Nicht doch — Er hat... doch nicht vegessen. Euch — Marthe の気持ちに訴える Dat. Urfaust では recht になっている。dran — daran. 上 2 行の vergessen の補足語を指す。彼は本当に心からそのことを考えていたんですよ、奥さん。Marthe が夫のために苦勞したと言うのを、Mephisto は、夫の方が Marthe のために苦勞したと考えていたという、逆の意味にして答えているのである。(Düntzer). 現在完了。
2971. von Malta ging — 当時トルコ人と戦っていたヨハネ騎士修道会の船に乗って、マルタ島を出発したのである。(Düntzer). weg... ging — weg|gehen.
2972. betet' — betete. brünstig — innig, inbrünstig. (Schröer).
2973. Uns — Dat. denn auch — そういうわけで、それで。
2974. Daß — So daß. ein türkisch(es).
2975. Das — 関係代名詞。先行詞は Fahrzeug. der große Sultan = Großsultan : der türkische Kaiser. (Schröer).
2976. Da — そのとき。ward — <werden=zuteil werden. 与えられる。der Tapferkeit — Dat.
2977. denn auch — denn は auch を強調する。私も。sich — sich's の版も多い。
2978. wohlgemeißnes Teil — 分け前をたっぷり。davon — von dem Schatz des großen Sultans. ここで Marthe の所有欲を抜け目なく刺激する Mephisto の意地の悪さが繰り返される。(Endres).
2979. Ei — verwunderung, staunen, kosen, freude などを表現するとき用いられる。(Grimm). えっ、まあ。Vgl. Vers 2279. Ei wie? Ei wo? — 英訳では：“Eh, Eh, How, where?” (MacNeice) er's — er es. er = Herr Schwerdtlein. es = sein wohlgemeißnes Teil. 次行の es も同じ。現在完了。Mephisto による 5 度目の効果と 4 度目の急転回。(Arens).
2980. Wer weiß — 誰も知らない。wo — wohin. nun — jetzt. haben — (geblasen, getragen) haben. 英訳では：“Who knows now where the four winds carried it !” (Luke). “Where the four winds have blown it now, who knows?” (Bruford).
2981. schönes Fräulein — Freudenmädchen. (Königs). Vers 2605 で Faust が Margarete に話しかけた最初の言葉を、Mephisto は Neapel の娼婦に用いて面白がっている。(Schöne). sich js. an|nehmen.

2982. Napel — ゲーテによってしばしば用いられた it. Napoli のドイツ語訳。(Trendelenburg). ここは Neapolitanische Krankheit (mal de Naples) を当てこすったもの。1495年 Karl 8 世のフランスの軍隊による Neapel の占領の際、恐らくアメリカから持ち込んだと思われる梅毒が最初に現われて、16世紀の恐怖になった。(Beutler).
2983. Sie — Ein schönes Fräulein. viel an ihm tun — 人に尽す。Lieb's und Treu's — Liebes und Treues. 形容詞の名詞的用法。これは Vers 2968 の Marthe の言葉の意地の悪い繰り返し。(Endres). 現在完了。いかがわしい美人が親切を盡してくれた結果、臨終の際までその痕跡を感じたというのは、その女から移された梅毒 (mal de Naples) で一生悩んだということ。(青木)。
2984. Daß — So daß. er's — er es. es — viel Lieb's und Treu's. bis an sein selig(es) Ende — 大往生のときまで。皮肉な言葉。
- 2981—4. Mephisto の悪賢いシニカルな言葉は、勿論二人の女性には理解できない。Marthe は Mephisto の言葉から、夫がイタリアの Konkubine と共に財産を蕩尽したものと推測する。(Arens).
2985. Schelm — verworfener mensch, betrüger, dieb, verführer, verräter auch vom treulosen geliebten oder gatten. (Grimm).
der Dieb an seinen Kindern ! — 子供たちの分を奪った ! (Arens).
an — に対して。Vgl. Verrat an seinem Vaterland. 祖国に対する裏切り。
Mephisto による6度目の効果と5度目の急転回。(Arens).
2986. alles Elend, alle Not — 遍歴中に味わったあらゆる悲惨と苦労。(Düntzer). 妻と子供たちが困窮しているということ。(Arens).
2987. Konnt' — Konnte. schändlich — schändlich(es) = unzüchtig. みだらな (生活)。(Grimm).
2988. seht — Ihr に対する命令法。Ja seht — そうなんです。英訳では : you see ! (MacNeice). Well. (Greenberg). nun — jetzt.
2989. Wär' ich nun... — Wenn ich nun... Platze wäre. Wär' — Konjunktiv II. 現在の仮定。もし私があなたなら。nun — ところで。
2990. Betraurt' — Betrauerte. (Schröer). ihn — Herr Schwerdtlein. ein züchtig(es) Jahr — Akk. 再婚は不適と見なされているいわゆる Trauerjahr. 実際は女は通常9ヶ月、男は12週、或いは、6週と定められていた。(Schöne).

2991. Visierte — (Ich) visierte. nach et. visieren (= ausspäen, auslugen). (Grimm). unterweil — unterweilen, mittlerweile, unterdessen. (Fischer). Schatz — etwas herabsetzend im Munde des Mephisto = Ehemann. (Fischer). Alexandriner. (Schröer).
- 2992—3. Ach gott ! — Vgl. Vers 2908. doch — 次行の Find' ich のあとに置く。(Düntzer). mein erster (Mann) — 彼女がいつでも2番目の夫を見つけないという考えを、心に抱いていることを暗示している。(Heffner). = Ach Gott ! einen anderen, wie mein erster war, finde ich (doch) nicht leicht auf dieser Welt !
- Mephisto による7度目の効果と6度目の急転回。Marthe は夫にまだ良い所を見ている。夫はある種のやり方で、妻を満足させることのできる社交的な浮かれ男だった。彼女の方もこの夫に馴れていて、2番目の夫もこのような御し易い男を見つけようと思っているが、それは難しい。(Arens).
2994. Es — 形式上の主語。ein herziger Nürchen が真の主語。ein herziger Nürchen — ein gutmütiger Mensch. (Königs). 男女間の Kosewort. = Es konnte kaum ein herziger Nürchen sein, wie mein erster war.
- 2995—7. Vgl. den Spruch : „Wein, Wandern, Weiber, Würfelspiel, wer's damit hält, verlieret viel.“ (Königs).
- 2996—7. Und — 罪を列挙する際の und の3度反覆は (Polysyndeton), 実際よりも長くその罪を意識させる。(Trendelenburg).
2998. Nun, nun — なだめたり, 和らげたり, 催促したり, 異議を唱えたりする際に用いられる。(Grimm). なるほど, なるほど。so konnt' es gehn und stehen — es konnte ins Gleichgewicht gebracht werden. 釣り合いがとれる。(Trendelenburg). es は非人称。gehen und stehen — うまく行く。英訳では: “Well, I daresay it was a fine arrangement.” (Luke). “Oh well, I'm sure things worked out fine.” (Greenberg).
- 2999f. Wenn er Euch... nachgesehen — Wenn er ungefähr so viel (wie Ihr) von seiner Seite Euch nachgesehen (hat). もし彼の方でもあなたとほぼ同じ位いに, あなたを大目に見ていたのなら, 丁度釣り合いがとれていたでしょう。うまく行ったでしょう。
3001. schwör'... zu — zu|schwören. Euch — Dat. mit dem Beding — unter der Bedingung. (Königs). Beding — früher Bedinge. beding ist im vers bequemer als das dreisilbige bedingung. bedingung

- ist erst in den letzten Jahrhunderten üblich geworden. (Grimm). Urfaust では um das Geding. Beding のあとに daß Ihr nachsichtig seid を補う。(Alt).
3002. Wechselt' — Wechselte. Konjunktiv II. 外交的用法。mit jm. den Ring wechseln.
3003. es — zu scherzen. = O der Herr beliebt zu scherzen. Vgl. Vers 2900.
3004. mach'...mich...fort — sich fort|machen. beizeiten — vom Blickpunkt einer best Situation : recht bald, sogleich. (Goethe Wb.).
3005. Die — 指示代名詞。=Marthe. hielte — Konjunktive II. 現在の仮定。Wort — Vers 3001—2 の条件付きの結婚のこと。(Heffner). jn. beim Wort halten (nehmen) — 悪魔からさえ約束の履行を迫るかも知れない。
3006. Wie steht es — Wie geht es. es は非人称。
3007. der Herr — Vgl. Vers 2900. gut's — gutes. unschuldig's — unschuldiges. Urfaust では : „Du guts unschuldigs Kind ! ” 下品な Marthe に比べて純真無垢な Gretchen には悪魔さえも感動する。(Düntzer). Alexandriner. (Schröer).
3008. Lebt — Ihr に対する命令法。次の sagt も同じ。Fraun と einsilbig にしたのは押韻のため。Alexandriner. (Schröer).
3009. Zeugnis — Vers 2872 の Totenschein のため。(Arens).
3010. Schatz — Vgl. Vers 2991. gestorben und begraben (worden ist). Alexandriner. (Schröer).
3011. der Ordnung Freund — 秩序の友。以前から几帳面だった。現在完了。
3012. = (Ich) möchte ihn auch im Wochenblättchen tot lesen. ihn — mein Schatz. Herr Schwerdtlein. Wochenblättchen — 17世紀の初め頃にできた週間新聞。教会記録簿の定期的な抜粋が掲載されていた。(Königs). この成り行きは心理的に真に迫っているので、Faust の時代に Wochenblättchen があったかどうかという問題を持ち出すべきではなかろう。ゲーテの時代にはあった。それで十分である。(Trendelenburg).
- 3013—4. durch zweier Zeugen Mund — durch den Mund zweier Zeugen. 2人の証人の証言によって。聖書による。例えば, 4. Mose, 35, 30 : „nach dem Mund zweier Zeugen.” Matth. 18, 16 : „daß alle Sache bestehe auf zweier oder dreier Zeugen Mund.” (Schmidt). ゲーテ時代の裁判も、死亡

- には死と埋葬に立ち会った2人の証人を求めた。(Gaier). Wird... kund — kund|werden. allerwegs — überall. allerwegenが普通の形。(Fischer).
3015. Habe — (Ich) habe. noch — そのほかに, まだ. gar einen feinen — einen gar feinen. (青木)。
3016. Den — 指示代名詞。=gar einen feinen Gesellen. Euch — Dat.= für Euch. 失踪期間とは無関係に, 裁判所は2人の証人の(宣誓による)証言に基づいて, 死亡宣告を行うことができる。(Arens).
3017. bring'... her — her|bringen. tut — Ihr に対する命令法。das — 前行の内容を指す。
3018. hier die Jungfrau — die Jungfrau hier. Jungfrau — Urfaust では Jungfer=ledige weibliche Person, im 17. u. 18. Jhdt., Ehrenbezeichnung unverheirateter Mädchen bürgerlichen Standes. (Fischer).
この根拠のない問いのあとの Gedankenstrich は Pause を示す。この Pause の間に Mephisto は, Gretchon を観察してそのためらいに気付く。そこで彼女を安心させるために, 以下の言葉を続ける。(Arens).
3019. Ein braver Knab' ! — (Er ist) ein braver Knabe ! brav — rechtschaffen, wacker. 誠実な, しっかりした。(Fischer). Knabe — Jungling, junger, unverheirateter Mann. (Fischer). Vgl. Vers 79, 832, 6514, 8395. (Trunz). ist — (er) ist. 現在完了。沢山旅行をした。事実ではないが, Gretchen の好奇心をそそるために言うのである。(Endres).
3020. Fräuleins — Pl. Dat. Vgl. Vers 1837. = (Und) erweist Fräuleins alle Höflichkeit.
3018. 20. Jungfrau... Fräuleins — 再び呼びかけのたわむれ。最初の Jungfrau による呼びかけの方が正しい。たとえ Urfaust に於ける短縮形 Jungfer より多少高尚であるとしても。特に市民の未婚女性への呼びかけと肩書としては。それから一般化する形の Fräuleins (貴族の娘) による呼びかけによって, それに反応し易い娘は, 身分の境界を越えて高められた気分になる。彼女はこの身分の境界の向う側にいる Herr aus einem edlen Haus (Vers 2681) を知ることになる。(Schöne).
3021. Müßte — (Ich) müßte. Konjunktiv II. 外交的用法。Herren — ゲーテはしばしば単数の格変化とは無関係に, des Herren, dem Herren, den Herren を, 逆に複数 Herrn を用いている。(Fischer).
3022. Vor keinem Könige der Erden — (Ihr braucht) vor keinem Könige

der Erden (schamrot zu werden). der Erden — 弱変化の Gen. Vgl. Vers 1374, 1899. (Fischer).

3024. Wollen — Konjunktiv I. wir (Marthe と Margarete) に対する要求。der Herrn — Pl. Gen. der Herrn warten — auf die Herrn warten. heut' — heute.

STRASSE

この場面は短かいけれども、Faust の発展にとっては重要である。筋の運びは1日目： „Straße”, „Abend”. 2日目： „Spaziergang”. 3日目： „Der Nachbarin Haus”, „Straße”. この3日の中に Faust は2回 Mephisto の計画に服従する。最初は彼のより善き感情と認識に反して、Mephisto に小箱を Gretchen の Truhe の中に入れさせたとき、2回目はここで、つまり良心に反して Mephisto の計画に協力したときである。Faust の道徳的墮落は、彼がそもそもそれに気付く前に始まっていた。Faust を Magie へ、Mephisto へ、Hexenküche へ、Gretchen の部屋へ、裁判官の前での偽証へと狩り立てるのは、いつも同じ性急で、時を奪い、発展を否定する衝動であった。「たとえ悪魔に身を委ねなかったとしても、あの男 (Faust) は破滅しないわけにはいかないだろう。Vers 1866」という Mephisto の予言は、実現されねばならないように思われる。悪魔と結びついているだけに、なお更そう思われるのである。(Arens).

3025. Wie ist's? — wie ist es? es は非人称。以下の es も同じ。=Wie steht es? Wie geht es? Will's — Will es. Will — wird < werden. (Fischer). fördern — intr. mehrf. bei Goethe und früher, namentl. bei Luther und im 18 Jhdt. =Fortschritte machen, vorwärts kommen, vortreten gehen. (Fischer). Will's fördern? — Geht es vorwärts? (Endres). Will's bald gehen? — すぐうまく行きそうか?

3026. bravo — als Ausdruck der Freude üb eine erwünschte Situation, Entwicklung. (G. Wb.). Find' — Finde. in Feuer — in heißer Liebesleidenschaft. (Königs). Urfaust では im Feuer. 英訳では: “So you're well alight?” (Luke). “Do I find you all on fire?” (MacNeice).

3027. Euer sein — あなたのものである。

3028. sollt — 話者の意志。あなたに彼女を会わせてあげる。sie — Margarete. Nachbar' Marthen — Urfaust では Nachbar. Fragment では Nachbars. Nachbarin は Alexandriner の詩形に合わないからだろう。(Arens).
- 性や変化語尾のない Nachbar は目立つ。だが Marthen と一語を成すとすれば説明できる。Nachbarfriedel, Nachbarliese, Nachbartöchter などごく普通に用いられている。(Trendelenburg). Marthen — Dat. Alexandriner. (Schröer).
3029. Das — 指示代名詞。= Marthe. ein Weib wie — (so) ein Weib wie. auserlesen = auserwählt. (Fischer).
3030. Zum Kuppler- und Zigeunerwesen — hendiadys. (二詞一意)。ジプシー風の取り持ち役に。ジプシーの運勢を占う人たちは、特に恋愛問題で助言を求められた。(Thomas).
3031. was — etwas.
3032. des andern — des andern (Dienst). dessen wert sein — ある事に値する。Urfaust では：„Eine Gunst ist werth der andern Gunst.” 英訳では：“But she asks a service of us too.” (Luke).
3033. legen ... nieder — nieder|legen = ablegen. (Grimm). von et. Zeugnis ablegen. ein gültig(es) Zeugnis — 以下2行の Daß 文のこと。
3034. Ehherrn — Eheherrn. ausgereckte Glieder — ausgestreckte Glieder. 死者の体のこと。侮蔑的表現。(G. Wb.).
3035. heil'ger — heiliger. ruhn — ruhen.
3036. Sehr klug ! — Sehr klug (ist das) ! das は証言すること。学者で真面目な人間である Faust は、自分で確かめたことしか証言できない。彼は Mephisto の魔法のマントのことは明らかに考えてはいない。(Arens). Gretchen の住む町をこれから離れるなどとは、Faust は全然考えてはいない。(Witkowski). Alexandriner. (Schröer).
3037. Sancta Simplicitas ! — Heilige Einfalt ! ボヘミアの宗教改革者 Jan Huß によって有名になった感嘆詞。すでに薪の山の上に立っていた Huß が(神について異端の定義を下した理由で)、まだ薪を運んでくる一人の愚直な農夫を見て、笑って、„O heilige Einfalt !” と叫んだ。それから大勢の見物人たちに、「偽証の罪」(falscher Zeugen Schuld → Vers 3042) が、私をこの処刑場へ連れてきたのだと誓って言った。 — Vers 3040 はこの話に言及したもの。

(Schöne).

„Sancta Simplicitas” という表現は、ラテン語の教会作家 Rufinus (345 — 410) によってすでに述べられている。(Endres). *darum ist es nicht zu tun — darum geht es nicht.* それは問題ではない。es は非人称。

3038. *Bezeugt — Ihr* に対する命令法。

3039. *Er — Du.* Vgl. Vers 548, 549, 2304, 2306, 2634, 2913. *Zerreißen — abreißen, ein (jähes) Ende nehmen.* (Fischer). 現在完了。Alexandriner. (Schröer).

3040. *O heil'ger Mann ! — O heiliger Mann (seid Ihr) ! Da — Diesmal.* (Endres). *wärt — Konjunktiv II.* 現在の仮定。Ihr's — Ihr es. es = heiliger Mann. *nun — wirklich. = Diesmal wäret Ihr wirklich ein heiliger Mann, wenn Ihr auf Eurer Weigerung bestehen solltet.* (Endres). *In diesem Falle wollt Ihr den Heiligen spielen.* (Loeper). „heil'ger” と „da” を強調する。(Buchwald). 皮肉な表現。突然聖人のように話しますね、ふだんはそうではないのに、という意味。(Truntz).

3041. *es — 次行の Daß 文. das erstmal — das erste Mal.*

3041—9. Vgl. Vers 360—5. (Heinemann).

3042. *falsch Zeugnis — falsch(es) Zeugnis. abgelegt — abgelegt (habt).*

3043. *was — davon, was. 次行の was も同じ. drin — darin = in der Welt. von Gott — Teologie. von der Welt und was sich drin bewegt — Naturwissenschaft.* (Arens). Alexandriner. (Schröer).

3043—9. Faust が必然的な真理として、大げさに吹聴した学問的な仮説は、軽率に述べた間違った発言以外の何物でもないということを、Mephisto は極めて機知に富んだ話し方で説明する。(Endres).

3044. *ihm in Kopf und Herzen — in Kopf und Herzen des Menschen.* この Vers は = *Vom Menschen mit seinen Gedanken und Empfindungen — Philosophie.* (Arens). Alexandriner. (Schröer).

3045. Alexandriner. (Schröer).

3046. 前行の *mit großer Kraft* に続く。kühner Brust — (mit) kühner Brust.

3047. *wollt Ihr... gehen — wenn Ihr... gehen wollt. recht — gerade. ins Innre — in Euer Inneres.* (Düntzer). この Vers の意は = ganz offen-

- herzig sein. (Trendelenburg).
- 3048—9. Habt Ihr davon... gewußt! — 倒置による感嘆文。davon — Vers 3043—4の内容を指す。Ihr müßt es grad' gestehen — 挿入句。es — このこと。つまり Vers 3048—9の内容を指す。grad' — grade = gerade. offen und ehrlich. (Fischer). FaustはNacht-Szeneで (Vers 380 f.), これと同じようなことを告白している。(Schöne). So viel — mehr. (Düntzer). als = wieとも解される。
3050. Du bist und bleibst — Du bist noch immer. Sophiste — Sophistの古形。(Endres). 詭弁を弄する者。(Grimm). たとえ単なる仮説, それどころか邪説だったとしても, 学者が感激と確信を以て講義した学説と, 承知の上で偽証することとを, 同列に置くことは詭弁である。従って FaustはMephistoをLügnerだけでなく, Sophisteとも呼ぶのである。(Schröer).
3051. man's — man es. man — ich. es — 以下3行のこと。würdest — Konjunktiv II. 現在の仮定。このVersの意は = Du würdest mich mit Recht einen Sophisten nennen dürfen, wenn ich nicht tiefer sähe und würdest, daß du morgen, d. h. bald, mit gleicher Einbildungskraft deinem Gretchen unhaltbare Dinge versprechen wirst, um sie dir gefügig zu machen. (Reclam).
3052. morgen — in kurzem. (Witkowski). wirst — wirst (du). in allen Ehren — ohne Verletzung der Sittlichkeit. (Heyse). in all integrity. (Bruford).
3054. Seelenlieb' — Seelenliebe. liebe, die aus der seele kommt und auf die seele geht, im gegensatz zur sinnlichen liebe. (Grimm).
3055. Und zwar — しかも, それも。
3056. Treu' — Treue. この„ewig”という言葉, FaustはMargareteに対して用いることになる。Vers 3193. (Arens).
3057. so — そんな風に。
- 3056—8. Triebe — häufig bei Goethe in der jetzt gewönl. Verwend. von unwillkürlichen seelischen Regungen. (Fischer). Triebeのあとにdie Rede seinを補う。(Thomas). Verliebterの感情に溢れすぎる誓いの言葉に対する嘲笑が, 比較変化のできないüber-allmächtigという形にはっきり表われている。(Trendelenburg).
3059. Laß! — duに対する命令法。やめよ! das — 上3行のこと。Es

- wird ! — Es wird (von Herzen gehen) ! (青木). Es は前行の das. Wenn は Vers 3065 までかかる。
- 3059—66. Urfaust では, „und” を 6 回用いることによって, 一段と切迫した息もつかせぬ形になっている。この „und” をゲーテは 1 回に減らしている。Erich Schmidt がここで Sturm und Drang 期の様式を認めているのは正しい。(Trendelenburg).
3060. Gewühl — andauerndes Wühlen, dichtes Gedränge, übtr. dunklere heftige Empfindung. 心の悶え, 葛藤。(Fischer). Gefühl, Gewühl — Vgl. Vers 478—9. „Zu neuen Gefühlen / Alle meine Sinne sich erwählen.” (Arens).
- 3059—61. = Wenn ich empfinde, (und) nach Namen für das Gefühl, für das Gewühl suche (und) keinen (Namen) finde. 感情や心の悶えを言葉で実現しようとしてできないこと。Faust がのちの Vers 3455ff. で, 神を表わす名前を知らないように, 自分の愛を言い表わす言葉は, ここでも Vers 3190 でも Faust には小さすぎて無意味なのである。(Witkowski).
- 3062—3. mit allen Sinnen — 全身全霊で。nach et. greifen. Mephisto は学生に教訓を垂れていた: „Denn eben wo Begriffe fehlen, | Da stellt ein Wort zur rechten Zeit sich ein.” (Vers 1995—6). ここでも概念が欠けている。そして最高にして絶対的なものを表現する一つの言葉が見つけれられる。(Arens).
- 3064—5. diese Glut — Akk. der — 関係代名詞。先行詞は Glut.
3066. das — 上 2 行の内容を指す。ein teuflisch(es). Faust は内面の燃える情熱を, 愛という言葉で呼ぶのではない。彼の心を完全に満たして包むこの情熱を, 強さではなく継続の点で表現して, 自分の感情を unendlich, ewig と呼ぶのである。これは „ewig” という言葉をもて遊ぶことである。これが人間一般に, 特に人間の感情に適用されると Lügenspiel になる。(Arens).
3067. Ich habe doch recht ! — 何と言っても私の言うことが正しい。Hör ! — du に対する命令法。= Schweige und höre ! (Schröer). merk — du に対する命令法。sich³ et. merken. これを覚えておけ。
3068. schone — du に対する命令法。schone meine Lunge — Zwinge mich doch nicht, weiterzureden (und mich zu rechtfertigen). (Arens). 興奮させるなども解される。
3069. recht behalten — das letzte Wort behalten, den Gegner tot reden.

- (Witkowski). hat nur eine Zunge — nur eine Zunge hat. いろいろ主張はするが、その反論には耳を貸さないこと。(Gaier). Faust は Mephisto の Rechthalten (言い分が正しい) の問題を, Rechtbehalten (最初から最後まで正しい, 言い分を押し通す) の問題に歪曲する。(Arens). Alexandriner. (Schröer).
3070. Behält's — Behält es. es — recht.
3071. komm — du に対する命令法。ここでは間投詞的用法。Und komm — so komm denn. (Schröer). es ist schon gut. (Arens). もう沢山だ。もうやめてくれ。(行こう, ではない)。ich habe des Schwätzens überdruß — ich bin des Schwätzens überdrüßig.
3072. Vorzüglich — Vornehmlich. (Fischer). weil ich muß — weil ich mich zu dem falschen Zeugnis bequemen muß. (Trendelenburg). Faust は真実に反して Schwerdtlein 氏の死を証言するように言う Mephisto の要求を拒否できない。Gretchen に会う手段が他にないからである。(Düntzer). Faust は官能の欲望に完全に屈伏するので, Mephisto の言い分が正しかったのである。(Endres).
- 3067—72. この Faust の言葉は, 話しながら自分の考えを次第にまとめて行く場合の一つの例である。Hör ! と merk と Ich bitte dich と 3重の通告が並んでも, まだ Faust は何と言ったらよいのかわからないのである。Gedankenstrich が 2ヶ所ある。(Arens).

GARTEN

この場面は Faust と Margarete , Mephisto と Marthe が, 交互に 3回散歩しながら登場する。これは状況に相応しく全く自然であるが, 巧みな技巧でもある。それというのも人柄と事情の完全に異なる 2組の男女が対比されていて, その結果 ideal — real の滑稽な対照, つまりまじめなようで滑稽な対照が絶えず生ずるばかりでなく, 舞台上に登場しない間の無言の Pause さえも発展を予感させ, かなり長く続く幻想を呼び起すからである。(Arens).

3073. fühl' — fühle. es — daß 文。(次行まで)。der Herr — Vgl. Vers 2900.
3074. Herab sich läßt — (Und) sich herabläßt, mich zu beschämen.

- sich herab|lassen — von einem höheren standpunkte in geistiger oder socialer hinsicht zu einem niedern abwärts steigen und zwar nur für einmal und einen bestimmten zweck. (Grimm). sich zu et. herablassen. 気を使ってある事をする。Urfaust では: Herab sich lässt, bis zum Beschämen.
- 3075—6. so — sehr. (daran) gewohnt sein, et. zu tun. fürlieb nehmen — (seit 17 Jhdt.) sich³ freundlich genügen lassen. (Fischer). Urfaust では vorlieb nehmen.
3077. erfahrenen — weitgereisten, der deshalb viel erfahren hat. (Gaier).
3078. Mein arm(es) Gespräch. unterhalten — Hier: die Zeit verkürzen. (Schröer).
3079. ein Wort — ein Wort (von dir). unterhält — unterhält (mich).
3080. alle Weisheit dieser Welt — Vgl. Kor. 1, 20: „Hat nicht Gott die Weisheit dieser Welt zur Torheit gemacht?“ 3, 19: „denn dieser Welt Weisheit ist Torheit bei Gott.“ Margarete の新たな偶像化。(Gaier). Faust の度の過ぎたおせじは, Margarete には効果がない。(Arens). Er küßt ihre Hand — Faust は „liebe Hand, so göttergleich“ にキスをする。そして手入れしていない, 家事に荒れた手, つまり現実と知り合いになる。Vgl. Vers 2707—8. (Arens).
3081. Inkommodiert Euch nicht ! — Ihr に対する命令法。= (von lat. incommodus „unbequem“) Macht Euch keine Unbequemlichkeit ! Bemüht Euch nicht ! (Königs). incommodieren という外来語には, 古い市民的なものがある。この上品な外来語が選ばれたのは, それが上品な相手に相応しいと Gretchen が思ったからである。(Schröer). sie — Gretchens Hand. 次行の sie も同じ。nur — 一体。疑惑を強める。Alexandriner. (Schöne).
3082. so — sehr. garstig — häßlich, widerwärtig. (Fischer).
3083. Was hab' ich nicht... — 感嘆文。nicht は強調。Was alles — 何と いろいろなことを。schaffen — südwestdeutsch. = arbeiten, besorgen, leisten. (Fischer). 現在完了。
3084. genau — peinlich sorgfältig. (Fischer). sparsam (Arens).
3085. so — in solcher Weise.
3086. Ach, daß Gewerb' und Pflicht... — 主文を省略した感嘆文。Ach, (es

- ist verdrießlich od. ärgerlich), daß Gewerb' und Pflicht... treiben! Gewerbe und Pflicht — 曖昧な表現。この言葉で頻繁な場所の移動の必然性が示されているに過ぎない。女性たちの眼には、Faust と Mephisto は職業上から旅行しているのではなく、貴族の趣味として旅行しているように見える。(Witkowski). dazu — 頻繁な旅行。
3087. man — wir.
3088. nun einmal — とにかく。動かし難い事実を示す。
3089. In raschen Jahren — Im jungen, lebenskräftigen alter. (Grimm). geht's... an — es geht an=es läßt sich tun. やって行ける, 可能である。(Fischer). es は次行の zu 不定句。wohl — 推測。
3090. So — In solchor Weise. um und um — rundherum. (Fischer). streifen — umherziehen, ziehen. (Fischer).
3091. kömmt... heran — heran|kommen. kömmt — 3人称単数現在の古い形。„Faust”ではこの個所だけ。(Heffner). Urfaustでは kommt. die böse Zeit — das Alter. Vgl. Prediger 12, 1: „Ehe die böse Tage kommt und die Jahre herzutreten, da du wirst sagen: Sie gefallen mir nicht.” (Düntzer).
3092. sich... schleifen — sich schleppen, mühsam gehen. (Schröer). Hagestolz — kinderlos auf einem Hag, d. i. einem Nebengrundstück, seßhaft=unverheiratet Gebliebenen. (Fischer). Alexandriner.
3093. Das — 前行の zu 不定句。次行の das も同じ。現在完了。
3094. von weiten — von weitem が普通。weiten は古い副詞の形。Vgl. Vers 532, 8160. (Heffner). 次行の Zeiten との押韻のため。
3095. berätet Euch — Ihr に対する命令法。sich beraten. =sich (mit einer Frau) versorgen. (Fischer). in Zeiten — solange es noch Zeit ist, rechtzeitig, sogleich. =bei Zeiten. (Fischer).
3096. aus den Augen aus dem Sinn! — この格言で彼女は、「あなたを決して忘れません」と言った Faust の言葉を拒絶しているのである。(Düntzer).
3097. Höflichkeit — Courtoisie. 身分の高い人々のエチケット。Vers 3020 で Mephisto は Faust の Höflichkeit をほめていた。(ほめることで Schmückkästchen の贈り物のことを, ほのめかすつもりだったのかも知れない)。(Schöne). Euch — Dat. =Euch ist geläufig, Höflichkeiten zu sagen und zu erweisen. (Reclam).

3098. der Freunde — Pl. Gen. häufig — 古い意味の haufenweise, viele. (Erler). der Freunde häufig — many friends. 珍しい構文。die Freunde (acc.) häufig haben と der Freunde viele haben との混合によると思われる。(Thomas). = der Freunde viel, der Bekanntschaften auf Reisen. (Trendelenburg).

viel の前に genitiv を置くのは昔から好まれている。18世紀には genit. との結びつきは、意識的に再び広く受け入れられて、genit. の先置を好む傾向が現われるのは、注目されねばならない。(Grimm).

3099. Sie — 前行の Freunde.

3100—1. O Beste! glaube — 英訳では: “my sweet, believe me.” (Luke). “Dear girl, believe me”. (Atkins). “Believe me, dearest”. (MacNeice). “Oh, best of creatures, trust me”. (Bruford). so — in solcher Weise. verständig — Vgl. 1. Kor. 1, 19: „und der Verstand der Verständigen will ich verwerfen.” Faust は Gretchen の vrerständig という言葉に飛びついて、この聖書の意味に沿って考えたことを話す。(Arens).

Kurz Sinn — kurzersinn, kurz sinnigkeit. (Grimm). mangelnde Überlegung. 今日では用いられない。(Endres). Beschränktheit, Kurzsichtigkeit. (Fischer).

この2行は自然のアクセントでは散文である。(Vers 3100 は so にアクセントを置いて、拙い Alexandriner として読むこともできる):

　　◡　◡　◡　◡　◡　◡　◡　◡　◡　◡
　　◡　◡　◡　◡　◡　◡　◡　◡

リズムの乱れは、Faust の心の動揺を表わしている。Vers 3104—5 も同じ。(Arens).

Wie? — Faust の言葉を実際によく理解できなかったかも知れないが、„ein Reisender” とか、„aus den Augen aus dem Sinn” とかの辛い想いに沈んでいたためかも知れない。(Arens).

3102f. Ach, daß... — 主文を省略した感嘆文。2行下の Daß Demut... も同じ。= Ach, (es ist wunderbar,) daß die Einfalt...! 精神と自然とがまだ分離せずに一体になったままである素朴な Anmut の魅力を、これ以上簡単に表現するのは難しい。(Schröer).

3104—5. Goethe an Scharlotte v. Stein, 4. Dez. 1777: „Wie sehr ich wieder... Liebe zu der Classe von Menschen gekriegt habe! die man

die niedre nennt ! die aber gewiss für Gott die höchste ist. Da sind doch alle Tugenden beysammen, Beschränktheit, Genügsamkeit, Grader Sinn, Treue, Freude über das leidlichste Gute, Harmlosigkeit, Dulden.” (Witkowski).

Faust がここで純粹にキリスト教的な徳である Demut と Niedrigkeit を賛えて、その神聖な価値について話しているのはまぎらわしいことである。Faust が言わんとする所は、Gretchen の部屋に於ける Monolog の中にある清潔さ、静けさ、満足の根源的な状態なのである。(Arens).

Demut と Niedrigkeit は、自然がこころ優しく分かち与える贈り物である。(Schröer). Gedankenstrich のあとに nie erkannt, gewürdigt werden ! を補う。(Schröer).

リズムの乱れは、Faust の心の動揺を表わしている：

〱 〱 〱 〱 〱 〱 〱 〱 〱 〱
 〱 〱 〱 〱 〱 〱 〱 〱 〱 (Arens).

3106. Denkt Ihr an mich... — Wenn Ihr an mich nur... denkt. an jn. denken. Margarete は Faust の言葉をさえぎる。彼が Demut と Niedrigkeit を称えて言ったことは、彼女には殆んど分からない。(Arens).

3107. Ich werde Zeit... — Werde ich Zeit... Zeit genug — lange Zeit. (Schröer). zu denken haben — denken müssen. Alexandriner. (Arens).

3108 viel — oft. (Fischer). Faust は彼女の言葉の中の告白には気付かなかったようで、彼女の „Zeit genug” という言葉を捕えて質問する。(Arens).

3109f. Wirtschaft — Haushalt. 所帯。(Fischer). Wirtschaften versehen — Die „Hauswirtschaft” und die dazu gehörigen „häuslichen Geschäfte selbst verwalten und besorgen.” Adelung. (Schöne). sie — unsre Wirtschaft. versehen — 過去分詞。=besorgt. (Fischer). この句は=Und doch soll man sie versehen(besorgen).

3111—2. muß — (ich) muß. Alexandriner. spat — spät. nhd. では spät と spat は共存しているが、本来の区別は忘れられた。一般に古い言葉では、spat が形容詞としても副詞としても優勢である。(Grimm). früh und spat — zu jeder Zeit. (Grimm). früh と結びつきの使用は、„Faust” では Vers 4958, 11416, rime のためには Vers 11339. (Heffner).

„früh und spat”, „Meine liebe Not”, „alle Plage”, „ich ganz allein”,

- „schwere Stunden”, 最後の „immer fort wie heut so morgen” と数え上げられている彼女の仕事は, すべて個人的な成果を強調していて, 決して牧歌的生活ではない。Vgl. Vers 3083. (Arens).
- 3113f. Stück — Sache, Umstand, Ding. z. B. in diesem Stücke hat er sich geirrt ; er hat in vielen Stücken Recht. (Heyse). akkurat — eigen, genau, peinlich sorgfältig. (Fischer). Vgl. Vers 3084. (Arens).
3115. nicht daß... — (Es ist) nicht (notwendig) , daß... sie — 前行の meine Mutter. just — eben, gerade. (Fischer). sich einschränken — knapp leben. (Grimm). seine Bedürfnisse und Ausgabe vermindern. (Heyse). sich einzuschränken hat — sich einschränken muß. Vgl. Vers 2786f. (Witkowski). Alexandriner.
3116. Wir konnten uns... — Wir könnten uns weit eh'r regen als andere. könnten — Konjunktiv II. 外交的用法。sich regen können — sich frei geben können, nicht durch rücksichten beschränkt sein ; in bezug auf vermögen, in nicht zu engen verhältnissen sein, ankommen haben. (Grimm). Weit eher — viel mehr. (Gaier).
3117. ein hübsch — ein hübsch(es). hübsch — geht endlich auch auf das der quantität nach nicht als sehr grosz, aber als angenehm auffallende. 量から見て大変多いという程ではないが, ころよく目立つものを指す。(Grimm).
3118. Ein Häuschen と ein Gärtchen は, ein hübsch Vermögen と同格。(Arens). vor der Stadt — 城壁のある古い町の市民たちは, 城壁の外側に彼らの庭を持っていた。(Heffner).
3122. wohl — wirklich. 次行の Doch と呼応する。meine liebe Not — my blessed trials. lieb にはイロニーのニュアンスがある。z. B. die liebe Gewohnheit (blessed habit) , das liebe Einerlei (the blessed routine). (Thomas). Alexandriner.
3123. übernahm' — übernahme. Konjunktiv II. 現在の仮定。Alexandriner.
3124. Ein Engel — Ein Engel (war es). dir's — dir es. es=das Kind. 次行以下の es も同じ。Alexandriner.
3125. zog... auf — auf|ziehen. liebt' — liebte.
3126. nach meines Vaters Tod — nach dem Tod meines Vaters. 過去完

了。

3127. gaben... verloren — et.⁴ verloren geben. es als verloren betrachten, im voraus für verloren halten. (Heyse). もう助からないと思う。
3128. sie — die Mutter. 以下の sie も同じ。=So elend lag sie damals.
3129. Alexandriner.
3130. Da... nun — そういうわけで。dran — daran. 次行の zu 不定句。
3131. Würmchen — 病気とか頼るもののない状態の小さな生まれたばかりの子供。(Grimm).
3133. ward's mein — ward es mein. 私のもの(子供)になった。
- 3134—5. in meinem Schoß — あとで彼女自身の子供が動くことになった。彼女の最高の幸福ではなくて、最も深い苦しみになった。手足をばたばたさせるのは、力強い生命のしるしであるが、また死ぬときのしるしでもある。Vgl. Vers 4561. (Arens).
3137. Doch auch gewiß — Doch (hatte ich) auch gewiß.
3138. Des Kleinen Wiege — Die Wiege des Kleinen. des Kleinen — das kleine (Kind) の Gen. 形容詞の名詞的用法。zu Nacht — in der Nacht.
3139. es durfte kaum sich regen — es brauchte sich nur zu regen. (Schröer).
3140. War ich erwacht — (So) war ich erwacht.
3141. Bald muß' ich's... — Bald mußte ich es trinken. Kerker Szene にこれに対応する場面がある。Vers 4443f. (Schöne). bald — bald — . legen 以下の不定詞は、4行下の sorgen まで muß' にかかる。
3143. tänzeln — tanzen, tänzen の縮小詞。ein kind tänzeln — 子供を腕に抱いたり、膝に抱いたりして、あやしながらあちこち歩くこと。(Grimm). Alexandriner.
3144. am Waschtrog stehen — 絶え間のないおむつの洗濯。(Trendelenburg).
3146. wie heut so morgen — so morgen wie heute. 単調で決して Faust の言う „das reinste Glück” ではない。(Arens).
3147. geht's... zu — geht es... zu. es は非人称。zu|gehen. mutig — lebenskräftig, lebhaft, aufgeweckt, munter. (Heyse). それでいつも元気で生き生きしていたわけではない。

3148. dafür — その代り。schmeckt die Ruh — Vgl. Vers 3374, 3612—15。
(Arens). Vgl. Pred. 5, 11 ; „Wer arbeitet, dem ist der Schlaf süß, er
habe wenig oder viel gegessen ; aber die Fülle des Reichen läßt ihn
nicht schlafen.” 働く者の眠りはころよい、満腹していても、飢えていても。
金持は食べ飽きていて眠れない。(Arens).